

令和2年度 第1回 広島県道路交通渋滞対策部会

議事録

1. 日時 令和2年8月28日(金) 14:00~15:30

2. 場所 広島国道事務所 5階大会議室

3. 出席者

[委員]

高口 敏弘	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長
兼松 幸一郎	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
加田 厚	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
荻野 宏之	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	事務所長
福代 智之	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	事務所長
守山 和彦	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	副所長【代理出席】
丸山 浩	国土交通省中国運輸局交通政策部	環境・物流課長
柳川 知輝	国土交通省中国運輸局広島運輸支局	運輸企画専門官【代理出席】
○長田 和久	広島県土木建築局	道路企画課長
高森 真司	広島県土木建築局	道路整備課長
樋口 稔	広島県土木建築局	都市環境整備課長
大下 孝志	広島県警察本部	交通規制課 課長補佐【代理出席】
田中 仁	広島市	道路計画課 課長補佐【代理出席】
石飛 和博	広島市	道路課長
多久島 俊彦	広島市	街路課長
梶谷 直毅	広島市	公共交通計画担当課長
渡邊 浩延	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長
弓山 茂樹	本州四国連絡高速道路株式会社	しまなみ尾道管理センター計画課長
為重 敦	広島高速道路公社	企画調査課長
中村 太覚	公益社団法人広島県バス協会	業務係長【代理出席】
富田 直也	一般社団法人広島県タクシー協会	専務理事

○会長 ※敬称略

4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 主要渋滞箇所の対策計画
- (4) 観光地における渋滞対策について
- (5) 新型コロナウイルスに伴う渋滞状況の変化について
- (6) 都市内の路上荷さばきに起因する渋滞対策
- (7) 重要物流道路における交通アセスメント

<議事概要>

- (1) これまでの検討経緯について確認した。
- (2) 最新データによる各主要渋滞箇所の点検結果および対策実施箇所（赤坂バイパスや仁保交差点）の対策効果の検証結果を確認した。また、今年度以降の対策予定箇所の状況について確認した。
- (3) 主要渋滞箇所の対策計画策定に向けて、主要渋滞箇所の短中長期計画を踏まえて、渋滞程度を把握し優先度を定め、関係者間でピンポイント対策（ソフト施策含む）の議論を進めることで合意した。
- (4) 観光地（宮島口）における渋滞対策について、これまでの対策と今後の取組内容について確認した。
- (5) 新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言発令の期間中における渋滞状況の変化を確認し、今後、この点も踏まえて渋滞の原因分析を行っていくこととした。
- (6) 都市内の路上荷さばきに起因する渋滞対策の考え方について確認した。
- (7) 重要物流道路における交通アセスメントの運用方法について確認した。

<委員からの主な意見>

- ・資料にあるように、国道 54 号は下浜ヶ谷交差点付近において朝夕時間帯に混雑が発生しており、地域からも上根バイパスへの接続を早期に整備していただきたいとの声がある。今年度中に可部バイパスの一部が 4 車線化する予定だが、全線開通に向けた次の展開についてもお願いしたい。【p. 22】
(事務局回答) 可部バイパスは、今年度中に 4 車線化される一部区間で整備効果の発揮を期待される場所であるが、下浜ヶ谷交差点付近においては渋滞が移動し、ボトルネック箇所となることも考えられるため、引き続き注視していく。
- ・主要渋滞箇所の対策計画について、対策検討を行うための優先順位を定めることは問題ないが、各指標の尺度が実際の渋滞状況と合致しているかを整理してはどうか。速度低下時間数を 75% で判断すると、従道路が混雑していない場合に主道路の混雑状況を適正に評価されないことも考えられるのではないかと。【p. 27】
- ・交差点によっては主道路と従道路の交通量が著しく偏っている場合もあるので、方向別の交通量の割合や渋滞損失時間等を加味した評価を行ってはどうか。【p. 27】
(事務局回答) 主要渋滞箇所の優先順位を評価する閾値や他の評価項目については、委員からいただいた意見を踏まえて、今後も引き続き検討を進めていきたい。
- ・コロナ禍では全国的に自転車通勤へのシフトなどの変化もあったと思われるが、今後についても広島エリアにおける自転車・歩行者、公共交通等との関係があれば教えていただきたい。【p. 34】
(事務局回答) 今後、どのような整理ができるかを検討していきたい。
- ・観光地の宮島口付近については、観光客数等も含めて判断していくことが必要と思われる。【p. 37】
(事務局回答) 幹線道路の速度状況と観光客数についての関係性を分析しているところだが、さらに深く分析できるかどうか検討していきたい。
- ・重要物流道路における交通アセスメントについて、本部会において議論をしていくのか。【p. 43】
(事務局回答) モニタリング等については本渋滞対策部会を活用していきたいと考えている。

以上